

日本スポーツ社会学会第20回大会

2011年3月20日から予定していました学会大会は3月11日に発生した東日本大震災のため、6月24日、25日、26日に延期されました。

記念大会 全体テーマ

「21世紀へのスポーツ」

会期・会場

平成23(2011)年 6月 24日(金)、25日(土)、26日(日)

会場 成蹊大学 〒180-8633 東京都武蔵野市吉祥寺北町3-3-1

アクセス: 吉祥寺駅(JR 中央線・総武線・京王井の頭線)、吉祥寺駅より徒歩約15分。

吉祥寺駅北口バスのりば1・2番より関東バスで約5分／成蹊学園前下車

大会スケジュール

6月24日(金)

15:00～17:00 旧理事会 大学10号館大会議室

17:00～19:00 新理事会 大学10号館大会議室

6月25日(土)

9:30～ 受付

10:30～11:30 一般発表(1) A・B・C 会場

11:30～12:25 ランチョンミーティング 大学8号館202教室

清水論(筑波大学・『スポーツ社会学研究』編集委員長)

『『スポーツ社会学研究』の2年間:論文の状況』

12:30～13:30 総会 大学5号館102教室

13:40～15:10 基調講演 大学5号館102教室

内田隆三(東京大学) 「スポーツの夢と社会過程」

15:20～18:20 基調シンポジウム 大学5号館 102 教室

「スポーツ社会学の解体—『スポーツ社会学』の社会学—」

池井望 (元神戸女学院大学)

「スポーツはその故郷『フィクション』へ帰るべきである」(抄録 p.11)

井上俊 (大阪大学名誉教授・関西大学客員教授)

「ホイジンガを遠く離れて？」

亀山佳明 (龍谷大学)

「身体論の可能性について」

佐伯年詩雄 (筑波大学名誉教授・タイケン学園スーパーバイザー)

「スポーツ社会学のアイデンティティ・ポリティックス

——アンドロギュノスの性格に注目して——」

司会: 山下高行(立命館大学)・中江桂子(成蹊大学)

18:30～20:00 懇親会 大学 10 号館 12 階ホール

6月26日(日)

9:00～10:30 一般発表(2) A・B・C 会場

10:40～11:40 一般発表(3) A・B・C 会場

11:40～12:40 昼休み

12:40～14:10 一般発表(4) A・B・C 会場

14:20～16:20 研究委員会シンポジウム

「メディアスポーツ——そのローカル化または多元化」

東元春夫(京都女子大学)

「学生フットボールの発展と地域メディア」

森津千尋(宮崎公立大学)

「ワールドカップとローカル・アンブッシャーの役割」

黒田 勇(関西大学)

「メガイベントと地域メディア」

司会: リー・トンプソン(早稲田大学)

16:30～18:00 アフターセッション

「スポーツにおける『新しい公共』」

演者

高橋豪仁（奈良教育大学・NPO 法人「バルシューレジャパン」理事長）

松田恵示（東京教育大学・文部科学省生涯学習調査官

NPO 法人「東京学芸大こども未来研究所」所長）

森川貞夫（日本体育大学名誉教授・「市民スポーツ&文化研究所」代表・

NPO 法人「あす・ねっと」理事長）

当日参加して下さるフロアのすべてのみなさん

予定企画の変更について

○公開セッション「トップスポーツの危機」について

シンポジストの予定や会場の都合により、2011年11月27日（日）14:00～16:30の予定で延期開催をいたします。会場は成蹊大学です。これにつきましては、あらためて広報いたしますので、ご関心の方は学会HP等に注意をしてください。

○海外招聘 Dr. Dominic Malcolm 氏の講演について

国内外の情勢にかんがみ、残念ではありますが、この企画は中止とさせていただきます。しかし、Malcolm 氏から講演論文をすでにいただいておりますので、この講演論文については邦訳したうえで、あらためて公表する機会を得たいと考えております。ご理解のほど、よろしくお願いいたします。

一般発表 タイムテーブル

6/25（土） 一般発表（1）

	A会場（8号館 201 教室）	B会場（8号館 301 教室）	C会場（8号館 302 教室）
10:30	座長：黒田勇（関西大学） 1. 丁 一吟（早稲田大学大学院） The Interpretation of Beijing Olympic Mascots “Fu wa” in the Context of Mass Communication	座長：小椋博（龍谷大学） 1. 小林ゆき（東洋大学大学院） モータースポーツにおけるスポーツボランティア活動の機能と地域社会との相互関係	座長：杉本厚夫（関西大学） 1. 海老原修（横浜国立大学） 似て非なるスポーツによる社会階層の可視化 2. 溝口紀子（静岡文化芸術大学） 女子柔道の歴史社会学的研

11 : 30	2. 坂東壘 (早稲田大学大学院) Web の誕生によるスポーツ表象体験の変化～2010 年サッカーW杯における Twitter 利用を中心として～	2. 後藤貴浩 (熊本大学) 地域社会分析からとらえる住民のスポーツ活動 (2) — 地域代表者の語りを通して—	究一段位制度と試合禁止の歴史—
---------	---	--	-----------------

6/26 (日) 一般発表 (2)

	A会場 (8号館 201 教室)	B会場 (8号館 301 教室)	C会場(8号館 302 教室)
9:00	座長：野川春夫 (順天堂大学) 1. 池本淳一 (早稲田大学大学院) 現代中国の農民層とスポーツ—農村から都市の武術学校への転入学を事例として) 2. 童 安佚 (筑波大学大学院) 台湾における体育政策に関する—考察—「振興野球運動総計画」の政治的意味から 3. 鈴木直文 (一橋大学大学院) 南アフリカにおける「スポーツと開発」への 2010 年 FIFA ワールドカップの影響	座長:松村和則 (筑波大学) 1. 石坂友司 (関東学園大学) 長野オリンピックの遺産と地域に与えた影響に関する社会学的研究① 2. 松林秀樹 (関東学園大学) 長野オリンピックの遺産と地域に与えた影響に関する社会学的研究② 3. 高尾将幸 (東洋大学) 長野オリンピックの遺産と地域に与えた影響に関する社会学的研究③	座長:飯田貴子 (帝塚山学院大学) 1. 古川岳志 (大阪大学) スポーツとジェンダー・イメージ～女子競輪の「復活」を通して考える 2. 木村華織 (中京大学大学院) 子供をもつ男女両性の選手の新聞報道の分析—ジェンダーイメージの観点から— 3. 柳澤康子 (筑波大学大学院) スポーツとセクシュアル・マイノリティに関する研究—性同一性障害・トランスジェンダー当事者の経験に注目して
10 : 30			

6/26 (日) 一般発表 (3)

	A会場 (8号館 201 教室)	B会場 (8号館 301 教室)	C会場(8号館 302 教室)
--	------------------	------------------	-----------------

<p>10:40</p> <p>11:40</p>	<p>座長:前田博子 (鹿屋体育大学)</p> <p>1. 石原豊一 (立命館大学大学院)</p> <p>社会的逃避の一形態としてのプロアスリート—独立野球リーグに見る「自分探し型」プロアスリート—</p> <p>2. 岡田千あき (大阪大学)</p> <p>カンボジアのスポーツ発展への取り組み—ポルポト時代を生きたサッカー選手のライフストーリーから—</p>	<p>座長:坂なつこ (一橋大学)</p> <p>1.中島信博 (東北大学大学院)</p> <p>長野オリンピックの遺産と地域に与えた影響に関する社会学的研究④ 農家青年にとっての長野五輪</p> <p>2. 内海和雄 (一橋大学)</p> <p>スポーツ的ナショナリズム②</p>	<p>座長:原田達 (龍谷大学)</p> <p>1. 酒本絵梨子 (東京学芸大学大学院)</p> <p>スポーツ行為の理解におけるコンドンの「引き込み」現象の意味</p> <p>2. 長津詩織 (釧路短期大学)</p> <p>僻地保育所における基本的な生活習慣の身体化過程</p>
---------------------------	---	---	--

昼休み

6/26 (日) 一般発表 (4)

<p>12:40</p> <p>14:10</p>	<p>座長:山本教人 (九州大学)</p> <p>1.澤野宏之 (日本体育大学大学院)</p> <p>フェアプレイの認識とスポーツ観の研究—小中学生の現状から—</p> <p>2. 荘司謙太郎 (東京学芸大学大学院)</p> <p>高等学校体育科・コースの生徒のイメージに関する研究—シンポリック相互作用論の立場からの解釈</p> <p>3.藤川恭英 (世田谷区役所)</p> <p>学校文化と中学校運動部活動に関する研究—部活動成立過程での教育的なるものの「語られ方」から—</p>	<p>座長:西山 哲郎 (関西大学)</p> <p>1. 影山 健 (前愛知教育大学)</p> <p>R.Giulianotti のスポーツ社会学について</p> <p>2. 石岡丈昇 (北海道大学)</p> <p>テンポの受肉: <集団競技>としてのボクシング</p>	<p>座長:伊藤公雄 (京都大学)</p> <p>1. 原尻英樹 (立命館大学)</p> <p>武道教育の理念と実践プラン: 古流武術の復権と義務教育化への対応</p> <p>2. 依田充代 (日本体育大学)</p> <p>ドーピング知識とスポーツ観の研究—小中学生の現状から—</p>
---------------------------	--	---	---

